



発行所
自由民主党本部
郵便番号 100-8910
東京都千代田区永田町1-11-23
電話 東京 03(3581)6211(代表)
〈毎週火曜日発行〉

自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.jp/>

LIBERAL&DEMOCRATIC

自由民主

参議院議員 元外務大臣
元文部大臣・科学技術庁長官

中曽根弘文 特集

本年三月十三日の自民党大会において、中曽根弘文参議院議員を始めとする今夏の参議院選挙立候補予定者へ公認証書が手渡されました。

由民主党の議員会長として自民党の政権復帰に大きく貢献しました。また平成二十一年から七年間にわたり自民党群馬県連の会長として、県政運営の安

定・発展に力を尽くしました。中曽根弘文参議院議員は、「日本の名誉と信頼を回復するための特命委員会」委員長として、慰安婦問題等の国際社会の誤った認識を正すための活動に長年取り組み、そして「歴史を学び未来を考える本部」事務総長や「伝統文化調査会」会長として、日本の歴史・伝統・文化を大切にしつつ、日本の将来のあるべき姿を考えるなど、国家としての重要な問題に中心となって取り組んでいます。また、日米国会議員連盟や参議院アセアン議員交流推進議員連盟を始めとする数多くの議員連盟の

会長を永年務め、メキシコ、ポーランド、リトアニア、ラトビアなどの国々の大統領から勲章を授与されるなど、積極的な議員外交による友好強化が海外からも高く評価されています。清廉で誠実な人柄から、与野党を越えて信頼も厚く、豊富な経験と内外各界の要人と太いパイプを有し、政界のリーダーとして国政に取り組み中曽根弘文議員の今後益々の活躍が期待されています。



岸田総裁と自民党大会にて

この危機を突破し 新しい時代を 切り拓く

時局特別インタビュー

ロシアによるウクライナ侵攻や新型コロナのまん延などにより、世界情勢が混とんとしています。今後の日本のあり方などについて中曽根弘文参議院議員に伺いました。

自分の国は自分で守る 決意と努力を！

ウクライナへの進攻問題は日本にとっても大変な問題です

中曽根 ロシアは去る2月24日、ウクライナへの侵攻・侵略を行い、ウクライナに対する戦争を開始しました。このロシアの暴挙は、武力による一方的な現



日本・ポーランド友好議員連盟会長として、駐日ポーランド大使を国会に招きウクライナ情勢を聞き取り。衆参両院の多くの国会議員も参加し、ウクライナからの難民支援策などについて協議。この様子はメディアでも取り上げられ、政府の支援策策定を後押ししている。



一方、我が国を取り巻く安全保障環境は年々厳しい状況となつていいます。我が国周辺でのロシアと中国の共同軍事訓練活動も緊密化し活発化しています。我が国固有の領土である北方領土を不法占拠している核兵器保有国であるロシア、尖閣諸島周辺の我が国の領海を毎日のように侵犯している核保有軍事大国である中国、更に高度化した弾道ミサイルを度々発射している北朝鮮、これらの国々に隣接している我が国の防衛をどのように万全なものにしていくか、これは国家の現在の最大の課題です。

日本国憲法前文には「平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して我が国の安全と生存を保持しよう」と決意したとありますが、このような他国に我が国民の命をゆだねる考えの現憲法で、国民の生命、財産、領土、領海を守る事ができるのか。我が国に対する他国からの武力攻撃が発生した場合にどう国を守るか、必要な防衛力を大幅に強化し日米同盟による抑止力を二層強化するとともに、今こそ我が国の防衛体制に関し国民的議論を深めていくべきだと考えます。

コロナ対策・防災で 安心な暮らしを守る！

新型コロナウイルス対策など、これからの課題は何ですか――

中曽根 新型コロナウイルス対策と経済の回復の両立は喫緊の課題で政府も全力で取り組んでいます。群馬県内でも医療関係者を始めエッセンシャルワーカーの方々には大変なご尽力を頂いており敬意と感謝を表します。現状への対応と同時に、コロナ後に向けた新たな社会体制整備を進めなくてはなりません。県内においても飲食や観光はもとより、様々な分野で甚大な影響が生まれました。経済の回復をいかに図るかは大きな課題です。

皇室問題などの 国家の基本を大切に！

議員外交や青少年の健全育成、障がい者のスポーツ振興など幅広く活動していますが、皇室問題についての考えは――

中曽根 ご譲位により令和の時代が始まりましたが、国民の間にも皇室制度や日本の伝統に対する関心が大いに高まりました。世界で唯一の皇室の伝統を如何にして守り後世に継承していくかは最も重要な課題であり、国民的理解を一層深めるための活動に更に力を入れていきたいと考えています。

先人が築いてきた伝統や文化、歩んできた歴史などを謙虚に見つめ、その重さをかみしめ、その上に新しい時代を、ともに築いていきたいと考えています。特に未来を担う子どもたちが夢を抱き活き活きと育つことができる社会をつくっていききたいと思っています。

プロフィール

- 群馬県選挙区選出(当選六回)
一九四五年 十二月二十八日生まれ
- 一九六八年 慶應義塾大学卒業
- 一九八三年 旭化成工業(株)勤務(一九六八～一九八三)
- 一九八六年 内閣総理大臣秘書 自民党総裁秘書(兼務)
- 一九九〇年 参議院議員初当選(現在まで連続六回当選)
- 一九九三年 通商産業政務次官
- 一九九七年 参議院 商工委員会 委員長
- 一九九八年 参議院 議院運営委員会 委員長
- 一九九九年 参議院 国鉄債務処理及び
- 二〇〇〇年 国有林野改革特別委員会 委員長
- 二〇〇〇年 文部大臣、科学技術庁長官(小淵内閣)
- 二〇〇〇年 文部大臣、科学技術庁長官(森内閣)
- 二〇〇〇年 内閣総理大臣補佐官(教育問題担当)
- 二〇〇二年 参議院 政治倫理審査会 会長
- 二〇〇二年 裁判官弾劾裁判所 裁判長
- 二〇〇四年 参議院 予算委員会 委員長
- 二〇〇四年 自民党 中心市街地再活性化調査会 会長
- 二〇〇六年 参議院 教育基本法に関する特別委員会 委員長
- 二〇〇七年 参議院 懲罰委員会 委員長
- 二〇〇七年 自民党 伝統文化調査会 会長
- 二〇〇八年 外務大臣(麻生内閣)
- 二〇〇九年 自民党 群馬県支部連合会 会長
- 二〇一〇年 参議院 自民党議員会長
- 二〇一〇年 自民党 党紀委員会 委員長
- 二〇一三年 参議院 北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員会 委員長
- 二〇一四年 自民党 青少年健全育成推進調査会 会長(現任)
- 自民党 日本の名誉と信頼を回復するための特別委員会 委員長
- 二〇一五年 自民党 歴史を学び未来を考える本部 事務総長
- 二〇一六年 参議院 情報監視審査会 会長

外交

議員外交を積極的に展開

「日米友好議員連盟」会長として、歴代の副大統領や議会要人などと度々会談を行っている。ほかにも数多くの国とのパイプを生かし関係強化と議員交流を展開している。



日米議員連盟会長として米副大統領と(当時、現大統領)



米副大統領(当時)とメキシコ議会議場で副大統領と(当時、現大統領)

ポーランド・メキシコ・リトアニア・ラトビアより勲章を受章



コモロフスキ・ポーランド大統領(当時)より直々に勲章を授与される

ポーランドを始めとする各国との友好議員連盟の会長を長年務め、両国関係の強化への貢献により、各国の大統領から直接勲章を授与された。



緒方貞子氏とともにベニヤ・ニエト・メキシコ大統領(当時)より直々に勲章を授与される

教育・文化・スポーツ

障がい者スポーツの普及を目指す

「障がい者スポーツ・パラリンピック推進議員連盟」会長として、東京パラリンピックの成功のために尽力。史上2番目の51個のメダル獲得に一役。ハード面だけでなく「心のバリアフリー」の重要性を訴えている。



車椅子を体験



東京オリンピック・パラリンピックの招致決定の瞬間(プエノスアイレスのIOC総会にて)

幼児教育の無償化を実現

日本の将来を担う子供たちのために「自民党幼児教育議員連盟」会長として「幼児教育の無償化」に長年取り組み実現(2019年10月から実施)。幼稚園・保育園・認定こども園などの政策づくりや予算拡充に取り組んでいる。青少年健全育成基本法を議員立法として成立させるべく準備を進めている。

歌舞伎と京劇で文化交流

史上初の「日中京劇・歌舞伎同時公演」を北京で開催。自民党の「歌舞伎振興議員連盟」会長として、イベントの実現に尽力。旧知の中日友好協会会長である唐家璇氏(元外交部長官(中国の外務大臣))とも日中の文化交流の拡大について意見交換。



北京で歌舞伎と京劇の同日交互上演を実現。歌舞伎振興議員連盟会長として唐家璇・中国元外交部長・副首相、尾上菊之助さんと

地元群馬

しいたけ産業の再生と消費の拡大に向け

東日本大震災による原発事故の影響で大変な打撃を受けたしいたけ産業再生や、輸入しいたけによる国産品への圧迫対策など、「しいたけ等特用林産振興議員連盟」会長として、関係各省と連携し、様々な支援策を講じています。しいたけを始めとする中山間地の農業を守り、特用林産物の需要拡大と価格安定に力を尽くしています。



きのこ料理コンクールで議員連盟会長として表彰

温泉文化を世界文化遺産に!

温泉県である群馬県を中心に、(一社)日本温泉協会とも連携し、日本の温泉文化をユネスコ無形文化遺産登録することを目指しています。中曽根議員は全国温泉振興議員連盟の会長として先頭に立って取り組んでいます。

2020年にフィンランドのサウナ文化がユネスコ無形文化遺産となったこともあり、世界に誇る日本の温泉文化の登録に向けて積極的に活動しています。

災害に強い郷土づくり

集中豪雨等による大規模災害が全国各地で発生しています。災害が発生すると多くの人が死傷し、農業や商工業にも大きな損害を生じます。災害を想定したインフラ整備や法整備を行い、国土強靱化を図り防災・減災対策を着実に進めるために、中曽根弘文議員は地域の皆様の声を大切に政治活動を続けています。



ハッ場ダム工事現場(当時)視察

ここだけの話

ロケット発射の失敗を教訓に

1999年11月15日宇宙開発事業団種子島宇宙センターより発射されたH2ロケット8号機は、打ち上げから4分後に制御不能により爆破され海中に没しました。発射に立ち会った当時の文部大臣・科学技術庁長官の中曽根弘文大臣(当時)は即座に事故機の回収を指示し、小笠原沖水深3000mの海底に沈んでいたロケットエンジンを回収するなどして原因究明に徹底的に取り組まれました。

その成果は、後継のロケットの開発体制にしっかりと反映され、その後の連続打ち上げ成功へとつながり、我が国のロケット技術は世界的な信用を得るまでに大いに飛躍しました。

この引き上げから原因究明に至る経緯はNHKの「プロジェクトX」という番組でも特集されました。

また、この打ち上げ失敗を機に、中曽根大臣(当時)は官民のヒヤリ・ハット事例のデータベース化を提唱し、後に「失敗学」という学問の一分野にもなっています。



海底から回収されたエンジン

クラスター爆弾禁止条約に署名

クラスター爆弾は、親爆弾の中に数百発の子爆弾が詰め込まれたもので、戦争が終わった後も多くの不発弾を残し、何年経っても罪のない子供たちや市民が被爆しています。後世に被害を残さないために、中曽根外務大臣(当時)はオスロでの署名式に出席し、各国とともに「禁止条約」に署名しました。

同じように後世に惨禍を残す兵器である「地雷」の除去活動に対しても中曽根議員はタイ・カンボジアの旧紛争地帯を訪れるなどして支援活動を行って来ました。



外務大臣としてクラスター爆弾禁止条約に署名(2008年、ノルウェー・オスロ)

核軍縮演説



核軍縮・不拡散に関する演説(世界的な核軍縮を進めるための「11の指標」を世界に提言)

東京の国際問題研究所で中曽根外務大臣(当時)が行った核軍縮に関する演説が、内外のマスコミヤや各国政府から高い評価を受けました。この演説は、世界的な核軍縮を進めるための具体的な「11の指標」を明示したもので、核保有国を始めとする世界中の国へ発信しました。この指標は日本の核不拡散・軍縮政策の基本となるものであり、ロシアがウクライナへ侵攻したいま、改めてこの演説が注目されています。

ロクサナ・サベリさん解放



アフマディネジャド大統領(イラン)と会談。米国籍女性国際ジャーナリストの解放を要請、釈放が実現した

米国の国際的ジャーナリストであるロクサナ・サベリさんがイランで2009年2月に拘束され裁判にかけられていました。国際社会はロクサナさんの解放を強く求め、また米国からの協力要請もあり、同年5月に中曽根外務大臣(当時)はイランを訪問し、アフマディネジャド大統領(当時)と直接交渉し、ロクサナさんは無事釈放されました。

米国のクリントン元大統領による北朝鮮での人質解放に先駆けての快挙であり、世界各国から中曽根外務大臣の手腕に大きな評価が寄せられました。